

日看学教発第 2714 号
2024 年 5 月 31 日

厚生労働省医政局

医政局長 浅沼 一成 様

一般社団法人 日本看護学教育学会
理事長 大島 弓子



看護師等養成所における DX 推進に向けた学習管理システム等の整備に関する要望

日頃より看護学教育について多大なご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。
一般社団法人日本看護学教育学会は、看護師等養成所、大学、短期大学、高等学校等で看護基礎教育に従事している教員および大学院や実践の場で看護継続教育に従事している教員や看護職者を会員とし、看護学教育の質向上を目的として活動している学術団体です。

社会のあらゆる場において情報通信技術（ICT）が導入される時代になり、看護学教育にもデジタルトランスフォーメーション（DX）にむけて多くの ICT 関連機器や教材が導入され、多様かつ新たな教育的取り組みが行われています。一方、DX 推進に向けた取り組みの状況には教育機関により差があることも報告されています。

ICT を用いた遠隔授業とシステム整備状況について、看護基礎教育機関を対象にした実態調査の結果によると、大学と看護師等養成所を比較すると、看護学教育に有用とされる学習管理システム（LMS）がある大学は 83.5%であったのに対して、看護師等養成所ではわずか 38.2%であり、その他の ICT 環境の整備や活用状況についても、大学と比較すると看護師等養成所ではすべての項目で活用している割合が有意に低かったとの報告があります（水戸他、2023）。

卒業時に大学卒と同じ国家試験を受ける看護師等養成所の学生の DX 推進に向けて、学習管理システムの導入および必要な環境整備の充実に向けた支援を要望します。

（文献）：水戸優子，間瀬由記，宮芝智子，長島俊輔，星美鈴．（2023）．看護基礎教育での情報通信技術を活用した遠隔授業の教育効果に関する実態調査．厚生労働省令和 4 年度医療施設運営費等補助金看護職員確保対策特別事業研究成果報告書．